



■ サイトマップ ■ English

暮らしの情報   施設案内   イベントカレンダー   観光情報   各課のご案内 (電話番号)   事業者の方へ   栃木市紹介

■ 文字サイズ 小 標準 大 ■ 表示色 標準 1 2      サイト内検索  検索

トップページ > 各課の情報 > 遊水地 > 環境保全・イベント情報 > 絶滅危惧種復活プロジェクト～ミズアオイ～を実施しました！

**絶滅危惧種復活プロジェクト～ミズアオイ～を実施しました！**

最終更新日：2016年5月6日

かつて、渡良瀬遊水地史跡保全ゾーンの谷中村役場跡前にあった池には、『ミズアオイ』が生育していましたが、環境等の変化により今では見るができなくなっていました。

以前咲いていた場所を掘ると長年眠っていた種が芽吹くことのある特性を利用し、4月に機械での掘り起こしを行いました。

作業の前に、植物の専門家の方から今回のプロジェクトのためにすでに掘削してあるハートの形に掘った池の周囲の植物観察会を実施しました。

ハナムグラやエキサイゼリなど希少な植物の説明を受け、その場で実際に観察できるよい体験をし、植物のことを学んでから作業を開始しました。

今回の作業は、掘った池に生えていたヨシの根っこをとる作業と、一部地下水が浸みでている場所を広げ、発芽しやすい環境を整える作業を実施しました。

『ミズアオイ』が周辺の植物たちの仲間入りできることを願い、約30名の参加者が熱心に作業をしていました。

池の土は粘土質のため固く、ヨシの根が土に埋まり、取り除きにくいのですが、根っこを折らず取り除けるようにそれぞれ試行錯誤しながら、30袋以上のごみ袋に根っこを集めることができました。

池を掘る作業も土が固く掘りづらい作業でしたが、こちらでもその土に負けず、地下水が浸みだしている場所を広げようと力を注いでいました。

その中で、ザリガニが顔を見せる一面もありました。



今回、ミズアオイの復活に向けて大きな一歩を踏み出すことができました。

**絶滅危惧植物保全のための外来植物除去作業を実施しました**

最終更新日：2016年5月17日

5月14日（土）渡良瀬遊水地内の絶滅危惧植物を守るために、「国際生物多様性の日（5/22）」普及啓発事業の一環として、栃木県と共催で外来植物の抜き取り作業を実施しました。

会場となった第1調節池の史跡保全ゾーンの池の周囲には、ハナムグラやマイヅルテンナンショウなど計11種類の絶滅危惧種や希少植物が確認されております。

50名の参加者は、これらの植物の生育環境がよくなるよう、生育を阻害する、セイタカアワダチソウやスギナ又は蔓（ツル）性の植物の抜き取り作業を実施しました。

約1時間の作業終了後には、希望者に対し植物の観察会を実施し、渡良瀬遊水地の魅力を学んでいただきました。

外来植物のセイタカアワダチソウは、地下茎で伸びるため年に数回は、抜き取り作業が必要となります。今後も史跡保全ゾーンを中心に保全のための活動を実施していきます。個人をはじめ、地域の団体や企業の皆様など、地域環境の保全活動として気軽に参加できますので、ご協力よろしくお願いたします。

渡良瀬遊水地のファンクラブである『渡良瀬ナイツクラブ』に入会いただくと、保全活動やイベント情報などをお知らせいたします。興味のある方、遊水地のファンクラブに入って“守り人”になりませんか！



『渡良瀬ナイツクラブ』に関する詳細は、下記のページをご覧ください